

科目ナンバー： BC2091

授業コード： 2230200900

講義科目名称： 成人看護学Ⅰ

英文科目名称： Adult Health NursingⅠ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員			
◎石田和子、高柳智子、樺澤三奈子、小林綾子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】	【授業時間】		
	後期	15時間		
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】
	◎石田 和子	新潟県立看護大学	317	kazukoi@niigata-cn.ac.jp
	高柳 智子	新潟県立看護大学	203	takatomo@niigata-cn.ac.jp
	樺澤 三奈子	新潟県立看護大学	318	minako-k@niigata-cn.ac.jp
	小林 綾子	新潟県立看護大学	205	otsuka@niigata-cn.ac.jp
	実務経験のある教員が担当する。			
	【大学の科目区分】			
専門科目				
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】				
看護師課程				
【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】				
○ ◎ ○				

到達目標	1. 成人期にある人々の健康レベルに応じた健康課題と看護の役割について説明できる。 2. 慢性的な健康障害をもつ人々と家族の特徴およびセルフケアを支える看護について、理論・概念を活用して説明できる。 3. 終末期にある患者と家族の特徴と、人生の最期のときを支える看護について説明できる。
------	---

授業概要	成人期にある人々の健康と生活を包括的にとらえ、疾病の回復期にある人々、慢性的な経過をたどる人々および終末期にある人々に対する看護を実施するための基礎的知識を学修する。本科目では成人期における健康課題に応じた基本的な看護を概観するとともに、理論を活用して健康レベルに応じた看護の特徴を学ぶ。
------	--

授業計画	1	授業内容 授業形態：講義 学修課題：成人期における健康課題と看護① 学修内容：ガイダンス、社会状況の変化と成人の生活 事前学修：「系統看護学講座 成人看護学総論」p43からp61を読んてくる。 事後学修：授業時に説明する。 備考：石田 授業に「系統看護学講座 成人看護学総論」を持参する。
	2	授業内容 学修課題：成人期における健康課題と看護② 学修内容：生活習慣や生活ストレスに関連する健康障害、職業に関連する健康障害 事前学修：「系統看護学講座 成人看護学総論」p173からp178、p187からp197を読んてくる。 1年前期「ライフステージと看護(成人看護におけるライフステージと看護：成人期における健康課題)」について復習しておく。 事後学修：授業時に説明する。 備考：高柳 授業に「系統看護学講座 成人看護学総論」を持参する。
	3	授業内容 学修課題：成人期における健康課題と看護③ 学修内容：0～3次予防、健康増進に向けた施策 事前学修：「系統看護学講座 成人看護学総論」p164からp178を読んてくる。 事後学修：授業時に提示する事後学修課題に取り組み、どこカレに掲載した課題の解答と解説を読んて復習する。 備考：樺澤 授業に「系統看護学講座 成人看護学総論」を持参する。
	4	授業内容 授業形態：講義 学修課題：成人期にある人々と家族への看護 学修内容：成人期にある人々と家族の理解 セルフケアの支援と健康教育、家族の看護 事前学修：「慢性期看護論」p106からp116、p123からp137を読んてくる。 事後学修：授業時に説明する。

	5	備考： 小林 授業に「系統看護学講座 成人看護学総論」と「慢性期看護論」を持参する。 授業内容 授業形態：講義 学修課題：成人期にある人々の健康レベルに応じた看護① 学修内容：回復期看護 回復期にある人々の理解と看護ケア 事前学修：「系統看護学講座 成人看護学総論」p266からp277を読んでくる。 「リハビリテーション看護論」p40からp50ページを読んでくる。 事後学修：授業時に提示する事後学修課題に取り組み、どこカレに掲載した課題の解答と解説を読んで復習する。
	6	備考： 樺澤 授業に「系統看護学講座 成人看護学総論」と「リハビリテーション看護論」を持参する。 授業内容 授業形態：講義 学修課題：成人期にある人々の健康レベルに応じた看護② 学修内容：慢性期看護 慢性期にある人々の理解と看護ケア 事前学修：「慢性期看護論」p4からp21、p46からp51を読んでくる。 事後学修：授業時に説明する。
	7	備考： 小林 授業に「系統看護学講座 成人看護学総論」と「慢性期看護論」を持参する。 授業内容 授業形態：講義 学修課題：成人期にある人々の健康レベルに応じた看護③ 学修内容：慢性期看護 外来看護における療養継続の支援 事前学修：「慢性期看護論」p468からp474を読んでくる。 事後学修：授業時に説明する。
	8	備考： 石田 授業に「慢性期看護論」を持参する。 授業内容 授業形態：講義 学修課題：成人期にある人々の健康レベルに応じた看護④ 学修内容：終末期看護 終末期にある人々の理解と看護ケア 事前学修：「系統看護学講座 成人看護学総論」p279からp298を読んでくる。 事後学修：授業時に説明する。
評価方法、評価基準	到達目標 1・2・3に対して、筆記試験 100% (期末試験)	
必携図書	次年度以降に開講される成人看護学の講義・演習・実習科目でも使用する。 ・小松浩子 著者代表：系統看護学講座 成人看護学総論，医学書院．（最新版） ・中西純子 石川ふみよ 編：成人看護学 リハビリテーション看護論，ヌーヴェルヒロカワ．（最新版） ・鈴木志津枝 藤田佐和 編：成人看護学 慢性期看護論，ヌーヴェルヒロカワ．（最新版）	
参考図書・資料等	厚生労働省（n.d.）：健康日本21（第三次）. https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kenkounippon21_00006.html（閲覧日：2025年11月12日） 国立研究開発法人国立がん研究センター（2025）：がん情報サービス がんの発生要因と予防 科学的根拠に基づくがん予防. https://ganjoho.jp/public/pre_scr/cause_prevention/evidence_based.html（閲覧日：2025年11月12日）	
受講、課題、資料配布等のルール	・授業計画に沿って必携図書に目を通し、指示された自己学修を行ったうえで受講する。 ・私語など他の学生の受講に支障となる行為は厳禁とする。 ・欠席、追試、再試の各手続は学生便覧に従い遂行する。20分以上の遅刻は欠席扱いとなる。 ・出席日数が規定に満たない学生は試験を受けることはできない。	
教員からのメッセージ	成人看護学の対象や範囲は幅広いが、この科目で学んだことが基盤になるため、事前・事後学修を十分行い、積極的な姿勢で参加していただきたい。	
オフィスアワー	随時（メールで調整）	